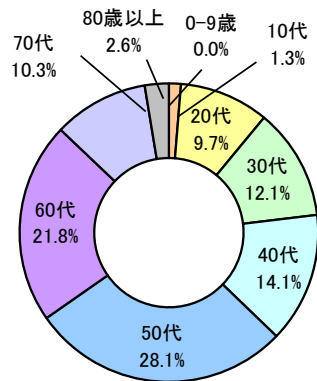


特別展「本阿弥光悦の大宇宙」

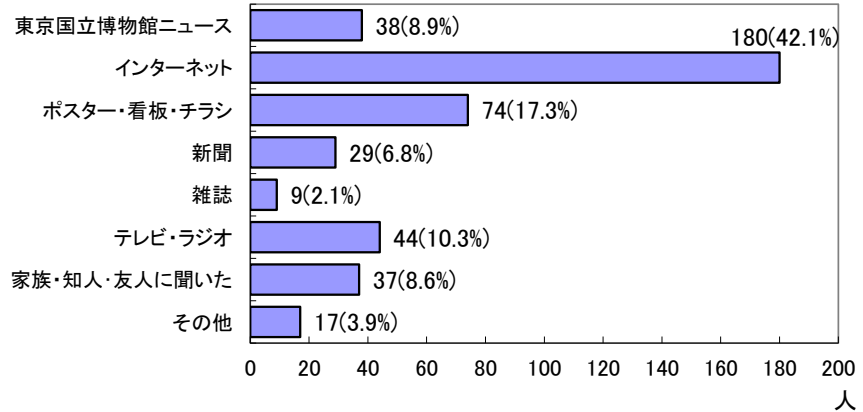
アンケート集計結果

開催期間：令和6年1月16日（火）～3月10日（日）（会期日数：48日）
 総入館者数：122,205人
 回答者数：390人

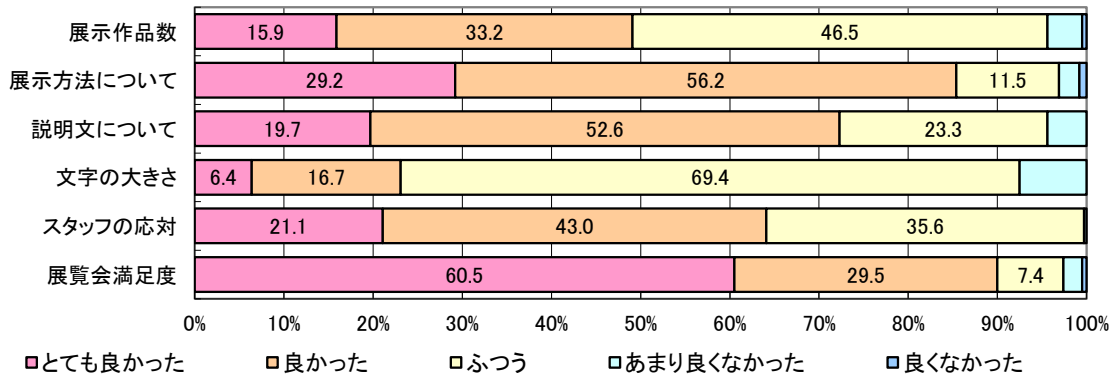
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

＜よかった点＞
 ・展示作品数が丁度よかった。
 ・広さに余裕のある作品レイアウトになっていて見やすかった。
 ・幅広い分野の作品を通じて、光悦を知ることができた。

＜要望など＞
 ・書跡に現代語訳あるいは現代仮名遣いによる釈文を添えてもらいたかった。
 ・展示位置が高く、見づらい作品があった。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	3.9	0.5
展示方法	2.3	0.8
説明文	4.4	0.0
文字サイズ	7.5	0.0
スタッフの対応	0.3	0.0
展覧会の満足度	2.1	0.5

(%)

特別展「本阿弥光悦の大宇宙」は、「一生涯へつらい候事至てきらひの人」で「異風者」（『本阿弥行状記』）といわれた本阿弥光悦が、篤い信仰のもと確固とした精神に裏打ちされた美意識によって作り上げた諸芸の優品の数々を、造形の世界の最新研究と信仰のあり様とを照らしあわせることで、総合的に紹介する展覧会でした。本展は「刀」「信」「漆」「書」「陶」の五つのキーワードに沿って構成されており、幅広い分野にわたる作品を一度に観覧することで、光悦を理解することができたという感想を数多くいただきました。また、解説文のわかりやすさや、多方向から見られる展示方法も好評でした。一方で、解説文に釈文や現代語訳を併記してほしいといった要望や、一部の展示に関して位置が高いとの意見もありました。展覧会全体としては、合計90%の方から「とてもよかった」「よかった」との評価をいただきました。今回のアンケート結果を参考に、引き続き、観覧環境の向上に努めてまいります。